

家庭料理研究・編集通信 No.4(2015.2.11 配信)

家庭料理研究・編集通信 No.4 は、今年初めての通信となります。今年もよろしくお願い致します。

立春が過ぎ、日照時間も長くなった事を感じる今日この頃です。しかし、まだまだ厳しい寒さが続いております。その中で、多くの県では聞き書き調査をなさっていることとお察し致します。お気をつけて調査を続け下さい。今年度の研究報告は、平成 26 年度聞き書き報告書を作成する事です。よろしくお願い致します。

今回の通信は、その研究報告に関する事と、先行県等の本の出版に関する現状をご報告させていただきます。

1. 家庭料理委員会活動報告

- 1) 1月12日に家庭料理研究・編集委員会(第4回)をアルカディア市ヶ谷(私学会館)で行いました。
- 2) 1月31日の理事会にて、H26年度研究活動内容の報告およびH27年度予算申請(100万円)を行いました。H27年度予算の主な使途はH26年度報告書作成費となります。

2. 研究報告関係および編集作業の進捗状況

1) 家庭料理委員会の勉強会スケジュール

6月7日(日) 代議員総会・講演会後 に本編集の事例報告を予定しております。

8月24日(月) 日本調理科学会大会中の昼休みに、研究報告および出版に向けての詳細な報告を予定しております。是非ご参加ください。

2) H26年度研究報告のスケジュール確認

① H26年度研究費を昨年9月末に各支部責任者の先生方に送金しました。H24-25度報告書製本・郵送費を差し引き、各県22,000円(支部からの振込費で少なくなります)です。次年度に繰り越してきませんので、各県で年度末(平成27年3月末)までに残金がないように使い切ってください。使途報告は昨年度同様です。領収書をつけた使途報告書を支部責任者にお送り下さい。使途報告書は、支部で10年間保存をお願い致します。使途報告ひな型を添付致します。

② 県責任者は、①調査資料リスト(エクセルファイル)、②調査報告書(府県表紙をつけたワードファイルまたはPDFファイル)を平成27年4月30日(木)までに支部責任者に提出ください。支部責任者は①②を家庭料理委員(家庭料理メールアドレス: voice@jscss.ne.jp)に5月15日(金)までに提出し、②については最終的に5月31日(日)までにPDFファイルでの入稿を終了するようにお願いします。詳細はホームページをご覧ください。

③ H26年度報告書に掲載する「調査者一覧」内容の確認を頂くため、4月上旬に最新名簿を県責任者、支部責任者に送信予定です。各県と支部内でご確認頂き、加筆修正をした最終名簿を、支部責任者は5月15日(金)までに家庭料理委員に提出ください。「調査員の追加」、「県責任者・支部責任者の変更」については3月末までに家庭料理メールアドレスまでお知らせください。調査員の連絡先変更などの修正は、最終名簿で結構ですので各県でお願いします。

3) 研究調査員の追加状況

第3回通信での報告と同様です。平成26年8月以降の累計となります。

神奈川(2名)、埼玉(1名)、千葉(2名)、茨城(2名)、山梨(2名)、新潟(1名)、静岡(6名)、愛知(1名)、岐阜(1名)、三重(1名)(平成27年2月11日現在)。

追加登録された先生方には、調査者番号を配布して資料リスト作成時にお使い頂きます。

すでに登録済みの先生が、ほかの地域に重複して参加される場合には、**最初に登録した調査者番号を使用**してください。

4) 本編集作業の進捗

- ① 先行6県のうち、長野県では料理の撮影を始めております。兵庫県では目次選定作業が進んでおります。第1回編集会議を、広島県では2月28日に、愛知県は3月16日に予定しています。岩手県および福岡県も進行中です。

平成28～29年度発行予定の県は、2年～1.5年前には編集作業を始めなければなりません。農文協から提案があり、先行県に続いて発行を予定する第2グループとして5県(北海道、秋田、新潟、京都、佐賀)に、発行の準備を始めて頂くことになりました。(今回は先行県に続くということで第2グループと表現しております)

- ② 発行希望年度について全県から回答をいただきました。発行スケジュール案の報告は8月勉強会を予定しております。

3. 研究・編集ガイドラインの追加・変更内容

とくにありません。

4. 配信・受信・ホームページ公開状況

1)平成26年12月18日「通信 No.3(20141218 家庭料理委員会)」を配信(支部・県)にしました。<20141218No3.通信.pdf>

2)平成27年2月1日「第2グループ ご連絡(2015/02/01 家庭料理 長野)」を配信(第2グループ5県と支部)にしました。<各県版編集作業の進め方について(20150115).docx><発行予定案 20150115.xlsx><料理リストのテンプレート 201412.xlsx>

5. 通信・システムに関する情報

とくにありません

6. Q&A コーナー

家庭料理メルアドに寄せられた質問に対する回答を共有します。通信 No.3 以降に頂いた質問とのお答えです。

◆本編集に際して

Q. 地域の独特の食材や季節限定の料理があるため、会員では作成できない料理が出てくる可能性があります。上記のような料理が、すでに地方自治体等で出版されている書籍やパンフレットになっている場合の著作権は、日本調理科学会または、農文協から了解を取って頂けるのでしょうか？

A. 今回の本に掲載する写真は、基本的に農文協のカメラマンが新たに撮影を行う予定で、既存の出版物からの写真の転用は想定しておりません。料理を現地で、または執筆者が作るのが原則になります。地域の独特の食材や季節限定の料理があるため、会員が作ることができないと思われる料理もあると思われませんが、現段階では候補として料理リストにあげておいて頂き、編集会議で検討することになります。

Q. 料理リスト作成について、質問があります。カレーライス、とんかつ、コロッケなどは入れているのか。料理リストの選定基準に「1. 1960～1970年頃までに定着していたもの」と「2. 地域の気候・風土や暮らしに基づくもの」とあります。上記のような料理は、2には当てはまらないと思いますが、1には当てはまり、複数の対象者から名前が挙がってきます。肉の代わりに魚肉ソーセージを入れていたとか、魚の缶詰を使っていたなど、風土？に関する部分も若干あります。また、旬の野菜のてんぷらはどうか。これは上記基準の1にも2にも当てはまりますが、野菜づくりをしている地域では、全国すべてが当てはまると思われ、また栽培している野菜も埼玉県としての特徴があるわけではありません。これらの料理をどう扱ったらいいか、基準がありましたらお教えください。

A. 料理リストの選定基準としては、現段階では、「1. 1960～1970年頃までに定着していたもの」と「2. 地域の気候・風土や暮らしに基づくもの」のどちらか、あるいは両方に合致しているものであれば、リストアップしてください。最終的には、編集会議で、もう一度検討することになります。

長野県で先行して撮影を始めたところですが、撮影の準備段階で料理リストに当初取り上げていなくても撮影することにした料理も一部出てきております。編集会議段階で、掲載する料理について検討しますし、撮影時または撮影後にも、取舍選択されると存じます。また、エピソードの内容も影響すると感じております。また、本では、全国統一の部分もあり、各都道府県の特徴を出すところも出てくると存じますので、現段階では、上記の基準で選定してください。

Q. 各都道府県の本の発行時期はいつ頃決まるのでしょうか。

A. 「2. 研究報告関係および編集作業の進捗状況 4)本編集作業の進捗」を参照してください。

7. 参考資料

とくにありません

8. お知らせ

県内で、家庭料理研究に対する関心が高まっているという嬉しいご報告を一部の地域からいただいております。地方紙などのメディアで取り上げられた紙面・誌面がございましたら、pdfファイルを家庭料理メルアドまで是非ご送付ください。全国で共有し、活動報告の資料にさせていただきます。

9. 通信後記

通信 No.4 をお送りすることができました。調査研究員の方々の研究調査作業がわかりやすいようにと、家庭料理委員一同努力しておりますが不明な点があると思います。皆様のご意見を頂き、今後の活動に活かしていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

日本調理科学会の事務局から、H26 年度研究費の使途報告提出のお願いのメールが届いております。県及び支部での対応を 2.2)①に記載しておりますので、よろしくお願い致します。

(今号担当:長野)

以上

家庭料理研究・編集委員会 (voice@jscs.ne.jp)